

読むと成逸のまちが♡好き♡になる

せい いつ がっ く

成逸学区ニュース

上京区社協が発行する、コロナ禍における学区内の動きをお伝えするニュースです。

No.2

Feb.2021



成逸学区のまちづくり活動について、 教えて会長さん！

今回は、成逸住民福祉協議会 山元 國隆 会長に、コロナ禍中・コロナ禍後のまちづくり活動について、上京区社協職員がお話を伺いました。



◎コロナ禍中のまちづくり活動について

令和2年度の活動の多くは中止です。そうしたコロナ禍の中でも、空き家調査は行っています。また、通常は年度内に10回行っている評議員会を、令和2年度は町会長と各種団体長のみ出席にして、回数を減らして開催しています。総会は書類審議ですね。

人は、家から出ることで身だしなみを整え、気持ちをしゃんとさせるものです。ですので、

令和3年度からは通常通りのまちづくり活動がしたいですね。

避難所マニュアルは、令和3年度に改定予定です。アンケートをとろうと思っています。

◎コロナ禍後のまちづくり活動について

令和2年度は、避難所になる北総合支援学校と防災訓練をしたかった。地元のお寺さんとは、配慮が必要な方の避難所として使わせてもらえるよう取り決めをしています。どちらの

避難所も堀川通りから近く、観光客が避難してくることも考えておきたいですね。

大切にしているのは「若い人から高齢の方まで、参加できて楽しめるまちづくり活動」。様々な場面で活躍していただけるよう、様々な方に役割をお願いしています。

また、町内会に入ってくれた学生さん向けに家賃を半額補助していますし、分譲マンションの住民さんには積極的に町内会加入を呼び掛けています。

どうやったら学区民の方がまちづくり活動に参加してもらえるのか、いつも考えています。町内に子どもの声が聞こえなくなっていくぶん経ちますが、やはりさみしい。子どもに出てきてもらうには、その親世代に出てきてもらうことを考えないといけない。行事や防災訓練を通してまちづくり活動に参加してもらって、お互いに顔なじみになってもらう。そうすれば本当に災害が起きた時も、信頼しあって助け合えるんじゃないかな。



コロナ禍前に行われていた、様々なまちづくり活動の様子。



まちづくり活動の内容は、コロナ禍の状況により変更となる可能性があります。最新の活動は、上京区社協 (Tel:432-9535) までお問い合わせください。

反対側の面も、ぜひご覧ください！